



Newsletter

No. 34

2009年9月15日

発行 レイバーネット日本

〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403

http://www.labornetjp.org

labor-staff@labornetjp.org

電話 03-3530-8590 FAX 03-3530-8578

レイバー映画祭 2009 に参加しよう 壊れていく社会に抵抗する人々の息づかい

先日、行き場のない人々が集う広場の公衆トイレで自殺の現場を目撃した。血の海に男が横たわっていた。これも日常光景の一つのように見えたが、グローバル経済が、いまどんな社会をもたらしているのか ニュースは完全失業率が過去最悪と報じている。

そんな折、「いまの世の中どうなっている、どう生きたいか?」をうたい文句に労働者の祭り「レイバー映画祭」が催される。7本の新作ドキュメンタリーと1本の劇映画「この自由な世界で」(ケン・ローチ監督)がトークを交えて一挙上映される。新作7本は中短編もので、最底辺で<いま>を生きる人々の問題に焦点を当てている。壊れていく社会とそれに抵抗する個人や集団の息づかいも伝わってアクチュアリティに富む。

「労働者の夢 ハノイ自由貿易地帯の女性たち」は、日本企業の工場で月6000円で働く現地女性の日常を描いたベトナム人女性監督の作品。

「サワー・ストロベリーズ 知られざる日本の外国人労働者」は、2人のドイツ人が、きつい・汚い・危険な労働に携わる外国人労働者の実態をとらえていて、考えさせる。

「ソウルを揺るがしたキャンドル」は、韓国の若者が中心になった百万人集会の一部始終と、ネットを使った新しい運動のあり方を探ったもの。一人一人がマイクを手に声を上げる姿に心が打ち震える。

「人間を取り戻せ!」はビデオプレス制作。ピン工場で働く障害者が人間の尊厳を求めて立ち上がる。回らぬ舌で必死に訴える委員長がいい。

他に一人で抵抗する「国労バッジはずせない!」(湯本雅典)、大分キヤノンの派遣切り「会社のほうが詐欺だった」(土屋トカチ)、京品ホテルの強制執行「永き一日」(根来祐)など、この不況のなかで起きたしかしテレビでは断片的にしか見られなかった、ホットなドキュメントばかりで見逃せない。

(木下昌明)



*レイバー映画祭2009は、9月26日(土)13時より20時40分まで、東京・全水道会館ホールで開催されます。また、ホール隣の小会議室では、物販や展示コーナーもあり、休憩室にもなっています。会場は終日出入り自由ですので、お気軽にご参加下さい。また上映される作品は、貸し出し可能です。ぜひあなたのところで上映会を開きましょう。

レイバーネットからはじまるアートの市民・労働運動 ~ 待望の新冊子、12月19日に出版決定 ~

松元千枝



「ユニオンつくるん、生きさせる!」がユニオンYes!キャンペーンを機に出版されてから2年。土屋トカチ事務局長の「フツの仕事をしたい」と一緒にパンフレット代わりとして日本全国を渡り歩いたこの冊子第一号は、ありがたいことに合計販売数1300部に

達した。レイバーネット日本はあれからさらに成熟し、様々な労働・市民運動を拡げる仲間の手を拾い、つなげてきた。

日常的なニュース報道は苦勞の成果もあり、あの「google」ニュース記事検索でトップにあがってくるほど内容が充実し、独自性を主張できるまでになった。

また、12月に定例となったレイバーフェスタでは、運動を周知してもらうための手段として、ニュース報道以外の様々なメディアを生んできた。

3分ビデオ、風刺漫画、川柳、歌・踊り・・・コン

テストで入賞作品を集い、フェスタで参加者と批評しあった。一般には踏み込みづらいこれらのメディアでも、フェスタを通じ、「自分にもできるかも」という手軽さを印象付けたのだろう。

川柳などは驚異的なスピードで人気を高めている。これからもっと多くの人に挑戦してもらいたい、という風刺漫画のような媒介もあるが、レイバーフェスタを通じて運動当事者が「自分の声」として活用

できるような文化的メディアが生まれることを願う。レイバーネットの紹介冊子ともなる第二号では、こういったちょっと普通と違う「レイバーネット的運動のやり方」を、経験多彩なメンバーに熱く語ってもらった。その思いがぎゅっと詰まる新冊子は12月19日のレイバーフェスタで発売予定。乞うご期待。

(レイバーネット事務局次長)

ことしのレイバーフェスタは 12/13 大阪・12/19 東京で開催 大阪では3分ビデオ制作講座を実施

年々充実し、人気の高いレイバーフェスタ。ことしは大阪で12月13日(日)エルおおさか南館5Fホール、東京では12月19日(土)東京ウィメンズプラザホールで開催されます。準備も始まりました。ぜひ一緒に働くもののフェスタをつくりましょう。大阪では、フェスタのための3分ビデオ制作講座受講生を募集中です。

3分間映像制作講座のご案内(大阪)

日程：2009年10月7日(水)～11月25日(水)
計5回
毎週水曜日 18:30～20:30
場所：市民共同オフィスSORA(天満橋)

(10/7・10/14)
ビデオ工房AKAME(西中島南方)
(10/28・11/4・11/25)
受講料：10,000円
募集人数：6名(先着)
申し込み〆切：10月5日(月)
講師：小山帥人(元NHK報道カメラマン)
エンドウノリコ(ビデオ工房AKAME)
原田恵子(ビデオ制作者)
主催：レイバーフェスタ大阪実行委員会
ビデオ工房AKAME 大阪市淀川区西 チサン
マンション新大阪707
TEL/FAX 06-4805-0234 akamev@osk4.3web.ne.jp

日本の労働者の闘いを伝える“レイバーネットジャパン” 海外からの訪問者を広げよう

皆さん、知っていますか？ レイバーネットの英語ページがあることを。2年前の2007年9月以来、毎月10本の記事を写真付きで英語で掲載しています。毎月10本の記事をレイバーネットのトップページから厳選します。翻訳しているのは国際部のボランティアたちです。記事は日本だけのサイト、“Labornet Japan”<http://labornetjp.blogspot.com/>とともにアジア全域のサイト“Labornet Asia”<http://www.laborasia.net/>にも同時に掲載しています。

しかし、残念ながら両サイトともにアクセスが少ないのが課題です。毎月2回の更新のたびに掲載ニュースを会員メーリングリストでお知らせしています。皆さん、英語を読める人はブックマークを付けるとともに英語を理解する海外のお知り合いに宣伝をしてください。

ほかに国際部には朝鮮語や中国語のできるメンバーも居て、海外のニュースを翻訳してレイバーネット掲載しています。また動画サイト・ユニオンチューブのビデオの英語字幕付けもこれからの課題です。協力者をお待ちします。

(レイバーネット国際部)



レイバーネットの英語サイト“Labornet Japan”
<http://labornetjp.blogspot.com/>



アジア全域のサイト“Labornet Asia”
<http://www.laborasia.net/>

文化のチカラで「おかしすぎる裁判所」に迫ろう！

以前から教育関係裁判では不当判決が続いていたが、2007年に出た「君が代」強制を憲法違反とした画期的な難波判決以後、また逆戻りが始まった。最近では、今年3月の「君が代」裁判判決、6月の分限免職取消裁判判決など、被告都教委の言い分をそのままコピーしたようなひどい判決が続いている。裁判所は憲法の番人ではなく、権力の番人になってしまったようだ。こうした裁判所に反省を迫るため、教員・市民が9月25日に「おかしすぎるぞ！裁判所」アクションを行うことになった。

レイバーネットの川柳班に刺激を受け、裁判官や裁判所を川柳で笑いのめす企画も進行中。「審理せず 訴訟費用を ぶったくり」「昇進に 不当判決 比例する」など裁判原告で苦勞した人たちの句は、実にリアルで実体験がにじみ出ている。当日は集まった川柳をシール投票する予定だ。(たがいま、川柳募集中!)。また、サンパのリズムの「おかしすぎるぞ！」ソングも制作中。吉花花さんやアクション呼びかけ人が書いた「不適格」裁判官の似顔絵も登場する。

文化の力で裁判所をどこまで動かせるか、乞うご期待！
(佐々木有美)

* 行動は、裁判所前で午前11時30分～午後3時まで行います。詳細は同封チラシを参照してください。

「君が代」強制、人権・平和教育への介入…
教育裁判 不当判決出し放題！



9月25日(金) 11時半～15時(雨天決行)

○日程 東京霞ヶ関・裁判所前
○場所 おかしすぎるぞ！裁判所アクション実行委員会
○主催 連絡先 東京都港区赤坂2-22-17-401 TEL. 03-5430-0508
<http://o3action.ex09.jp/>



要請行動・歌・トーク・川柳など、様々な形で裁判所にアピールします。グッズ持参でご参加ください。

福田 豊隆

ドキュメンタリー映画 「犬と猫と人間と」劇場公開

土屋トカチ

「まとまったお金があります。しかし、私の命も残り少なくなりました。私が生きていうちに、犬や猫の命の大切さを伝える映画を作ってください」と、映画制作の依頼してきたのは、野良猫の世話をしている、いわゆる「猫おばあさん」でした。監督の飯田基晴は、新宿のいわゆる「ホームレス」取材した前作「あしがらさん」の上映会場で、彼女とお会いしました。

このニュースレターを手にしている方は、人間社会の問題で日々忙しく過ごされ、犬猫のことは癒しの対象程度に思われているかもしれません。犬猫はかわいらしく、いつの世も人間の一番傍にいる動物です。その一方で、日本では年間約30万頭、1日あたり約1000頭の犬猫が殺処分されているのをご存じでしょうか？ この映画の撮影を始める迄、私は知りませんでした。人間が過ごしやすい社会を求めがため、生まれて、そしてただ殺すだけの命の連続が、犬猫に強いられています。

飯田監督とカメラマンの常田高志、土屋の3名は、共同事務所「映像グループ ローポジション」を立ち上げ、4年の歳月をかけて映画「犬と猫と人間と」を制作しました。見えてきたのは「かわいそう」という感傷を超えた、人間の業でした。犬猫が大好きな方、まったく興味のない方も、身近な命について映画を通じて考えていただければ幸いです。

みんなの力で追い出しストップ！

ベルク祝う会 in 新宿農協会館

10月10日・限定70名

JR東日本・ルミネの脅しにも負けずに、お客と一緒にお店をまもった新宿東口の「ベルク」。

その祝う会が、開催される。主催は、ベルク・JR

ウォッチ・ラブベルク

(有志のベルク応援団)

今回の追い出しストップは、まだまだ部分勝利。今後のためにもぜひみんな

な集まって、応援の輪を拡げよう。日時:

10月10日(土)13時

～16時 場所:新宿農協会館7F会議室。

ベルクの料理と本物の「日本酒・ワイン・ビール」あり。会費は2000円程度。

トーク・うたなど何が飛び出すかわからない。限定70人。申込みは事前にFAX03-

3530-8578へ。(JRウォッチ)



インターン紹介

人の痛みがわかる「活動家」になりたい

おがわともこ

はじめまして。このたびレイバーネットにインターンとして参加させていただくことになりました「おがわともこ」と申します。広島出身で、2月までは京都で塾講師をしていました。途中、韓国に9ヶ月間だけ語学留学をしました。朝鮮半島についてはライフワークと言えるほどの知識も実績も持ち合わせてはいませんが、レイバーネットでは翻訳などでお役に立ちたいと思っています。6月までは韓国のシンクタンクの日本支部で働いていました。

土曜のお昼は国鉄ラーメン（団結ラーメン）という、「労組な」家庭で育ったのですが、知識や実践については無知なので、レイバーネットから学んでいきたいです。ハンセン病国賠訴訟の原告の方がおっしゃっていた「人間性回復の闘い」ということばが、自分自身の活動のモットーです。人の痛みがわかる、やさしくほがらかな活動家兼教育者になりたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

* <編集部注> おがわさんは、PARCの特別講座「社会にモノ言うはじめての一步～活動家一丁あがり」の受講生で、今回インターンという形で、レイバーネットに参加しました。

インフォメーション

建長寺で一日どっぷり「鶴彬」-映画とシンポジウム

昨年のレイバーフェスタからうまれた「ワーキングプア川柳チーム」が大活躍。

いよいよ10月2日には、鶴彬(つるあきら)関連の鎌倉・建長寺で「川柳シンポジウム」が開催されることになった。映画「鶴彬-こころの軌跡」(神山征二郎監督)の上映はじめ、記念講演・句会などがある。10月2日(金)午前9時受付開始 場所: 鎌倉市建長寺 応真閣。参加費: 3500円(法要・映画・講演・パネル討論・句会・弁当込) 定員: 150名(要事前予約)。申込みはTEL03-3530-8588へ。

市民メディアのお祭り～「TOKYOメディアフェス2009」開催

全国の市民メディアや独立系メディアの関係者が一堂に会す「Tokyoメディアフェス2009」(第7回市民メディア全国交流集会)が、9月20～22日に、東京ウィメンズプラザを会場に開催される。テーマは「衣・食・住+メディア」。当日は、アメリカの独立メディアプロデューサー、マーク・ウェイスさんの基調講演をはじめ、国際フォーラム「私たちのメディアが社会を変える」ほか、分科会・イベントワークショップなど、賑やかで魅力ある企画が満載だ。



-任したわけじゃないからね

夏休みの最後、子どもの大はしゃぎ
作: 言花花 <http://18787.main.jp/>

「冬の兵士」がやってくる～イラク・アフガン帰還兵の証言集会

反戦イラク帰還兵の会(IVAW)は、08年3月に40時間にわたる戦争証言集会「冬の兵士」公聴会を開催し、世界に対して良心の告発を行いました。

しかしメディアは、当事者の証言の重みゆえにこれを黙殺し続けています。証言集「冬の兵士」の日本語版も出版されます。今、さらに広く深くイラク戦争の真実を伝えるべく、9月16日～23日に、イラク・アフガン帰還兵による証言集会・日本ツアーを計画しました。(K)



レイバーネット会員の皆さんへ
会費納入とカンパのお願い

レイバーネットの財政は9年間、赤字を出さずにやってきました。これは、会員が増えていて会費収入が安定していること、専従などの固定経費がなく、ほとんどの仕事がボランティアベースで行われていること、などによります。しかし、最近活動の範囲も増えてきました。12月には、新しい冊子の発行も予定しています。レイバーフェスタの企画拡充などにもカネがかかります。活動資金にもう少し余裕があれば、さまざまな展開が可能です。そこで、今回カンパを呼びかけることにしました。条件の許す方は、ぜひ。また会費未納の方は会費送金を宜しく願います。同封の振替用紙をご利用いただければ幸いです。(9月15日 事務局)

レイバーネット日本の会員になりませんか

現会員数 410 名

ウェブアクセス 1日 1600

会員になれば、自分でニュースやイベント、お知らせを提供できます。レイバーネット日本は組合で個人で全国にアピールする絶好の場所です。

年会費 3,000 円

郵便振替 00150-2-607244 レイバーネット日本
郵送宛先 〒173-0036 東京都板橋区向原2-22-17-403
レイバーネット日本事務局
入会申込用アドレス apply@labornet.jp.org
電話 03-3530-8590 ファクス 03-3530-8578